

箱根駒ヶ岳山頂の展望広場を大規模改修

2025年4月、『箱根駒ヶ岳 芦ノ湖』としてリニューアルオープン

～約400㎡の展望デッキや巨大フォトフレームを新設、山頂駅舎のリニューアルなど、絶景ポテンシャルを活かした新たな体験価値を提供します～

株式会社西武リアルティソリューションズ（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：齊藤 朝秀）は、箱根駒ヶ岳山頂の展望広場（神奈川県足柄下郡箱根町元箱根139）を『箱根駒ヶ岳 芦ノ湖』として2025年4月（予定）にリニューアルオープンします。

1963年に営業を開始した『箱根 駒ヶ岳ロープウェイ』でアクセスする箱根駒ヶ岳（標高1,356m）は、箱根で2番目に標高が高く、芦ノ湖や箱根外輪山はもとより、富士山、相模湾、駿河湾、そして遠くは横浜ランドマークタワーや東京スカイツリーまで望むことができる360度絶景のパノラマスポットです。今回のリニューアルでは、浮遊感を楽しめる展望デッキや、富士山と並んで写真を撮ることができる巨大フォトフレーム、相模湾の景色をゆったりと楽しめるスペースなどを設け、新たな体験価値を提供します。また、同時にロープウェイの外観を一新します。

当社では、本改修によって従来からご利用いただいているお客さまに加え、「箱根にまだ来たことがないZ世代」「パワースポットをめぐる女子旅」「富士山観光を楽しむインバウンド」など、新規のお客さまのご利用も見込んでいます。



箱根駒ヶ岳山頂から望む絶景の大パノラマ

リニューアルのポイント

① 新たな展望デッキ・突き出しデッキを設置

約400㎡の展望デッキ、浮遊感を味わえる突き出しデッキを設置します。

② 富士山をバックにした巨大フォトフレームを設置

富士山と並んで写真を撮ることができる、幅3.5m、高さ2.5mの巨大フォトフレームを設置します。

③ 相模湾側の展望広場にネットベンチを設置

相模湾の海岸線を体感できる展望広場にネットベンチを7台設置します。

④ 山頂駅舎内のリニューアル

山頂駅舎内を改装し、おみやげ等の販売に加え、新たに食べ物や飲み物をご提供します。

⑤ 箱根 駒ヶ岳ロープウェイのゴンドラの外観をリニューアル

箱根を描いた浮世絵をモチーフにしたデザインに一新。空中散歩のわくわく感を演出します。

当社では、富良野、軽井沢とならんで箱根をリゾート開発の重要エリアと位置付けており、稀有なポテンシャルのもと、その土地の自然や歴史などを活かし、お客さまに非日常的な体験と感動を提供してまいります。

改修の詳細については次ページをご覧ください。

1. 【箱根駒ヶ岳 芦ノソラ】概要

* 以下①～④の施設を“箱根駒ヶ岳 芦ノソラ”と総称します。

* 画像はすべてイメージです。実際の完成施設とは異なる場合があります。景色眺望については、天候の条件により異なる場合があります。

① 展望デッキ『芦ノソラ』

山頂駅舎を出ると約 400 m²の広々としたデッキが広がります。展望デッキからは、眼下に広がる芦ノ湖と箱根外輪山、遠方には駿河湾が望めます。突き出しデッキでは浮遊感とともに絶景を味わえます。絶景に飲み込まれ、感動が高まるエリアです。

② 巨大フォトフレーム『富士ノガク』

富士山と並んで写真を撮ることができる、幅 3.5m、高さ 2.5m の巨大フォトフレームを設置します。箱根駒ヶ岳山頂からは、富士山の美しい稜線、さらには麓まで、その雄大さを体感することができます。旅の思い出となる一枚をお撮りいただけます。

③ 海を望むネットベンチ『海ノワ』

相模湾側のゆったりとした展望広場に 7 台のネットベンチを設置します。江の島や鎌倉、相模湾の海岸線の絶景を楽しみながら、思い思いの時間をお過ごしいただけます。

④ 『山頂駅舎内をリニューアル』

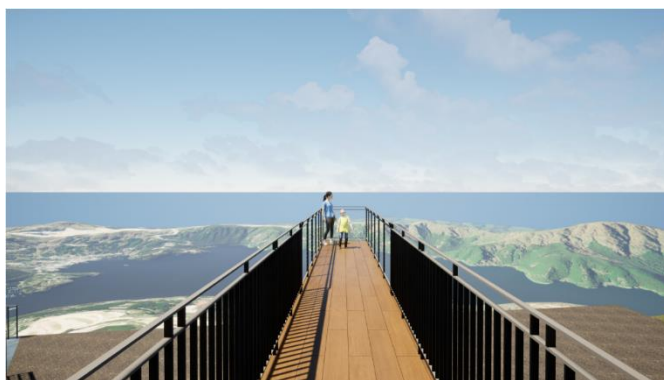
箱根 駒ヶ岳ロープウェー山頂駅舎内を、箱根、そして箱根駒ヶ岳山頂の眺望に調和するように改装し、絶景体験への期待を高めるとともに、従来からのおみやげやオリジナルグッズの販売に加え、新たに旅の疲れを癒す食べ物や飲み物をご提供します。

⑤ 『箱根 駒ヶ岳ロープウェー ゴンドラ外観をリニューアル』

ロープウェーのゴンドラの外観をリニューアル。箱根を描いた浮世絵をモチーフにしたデザインで、空中散歩のわくわく感を演出します。



①展望デッキ『芦ノソラ』全体（イメージ）



①展望デッキ『芦ノソラ』突き出しデッキ（イメージ）



②巨大フォトフレーム『富士ノガク』（イメージ）



⑤ゴンドラ外観のリニューアル（イメージ）

2. 計画概要

事業者：株式会社西武リアルティソリューションズ

設計：株式会社石井建築事務所

施工：株式会社石井工務店

ゴンドラデザイン：株式会社エムクリエイツ

着工日：2024年8月27日

リニューアル完了予定：2025年4月（予定）

※今後の事業進捗に伴い、変更となる可能性があります。

3. 箱根 駒ヶ岳ロープウェイ概要

所在地：神奈川県足柄下郡箱根町元箱根 139

開業日：1963年4月27日

運営：株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド

箱根芦ノ湖畔のレジャー施設『箱根園』と箱根駒ヶ岳山頂を全長 1,800m、片道 7 分で結びます。

季節により日没後の特別運航で星空観察ツアーや、初日の出鑑賞運行を行っています。

公式ウェブサイト <https://www.princehotels.co.jp/amuse/hakone-en/ropeway/>

（箱根駒ヶ岳について）

標高:1,356m（神山に続き箱根で 2 番目に高い標高）

山頂からは御殿場市の奥に富士山を望めるほか、眼下の芦ノ湖、箱根外輪山の奥に沼津・三島の街並みとその向こうに相模湾を望むことができます。

山頂には箱根山岳信仰の祖「箱根元宮神社」があり、箱根神社および箱根九頭龍神社とともに『三社めぐり』で多くの参拝客で賑わっています。



<以下、参考資料>

西武グループ サステナビリティアクション

西武グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」として推進しています。

社会課題や当社の事業環境を踏まえて、特に取り組むべき6つのマテリアリティ（重要テーマ）を設定し、各種取り組みを進めています。

西武グループの「サステナビリティアクション」詳細ページ：<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>

当社サステナビリティアクションの取り組み：<https://www.seiburealsol.jp/corporate/sustainability/>

成長	 脱炭素・資源有効活用 常に自然環境、地球環境へ配慮し、脱炭素社会や資源循環型社会の実現に貢献します。	基盤強化	 安全・安心なサービス提供 常に安全を基本にすべての事業・サービスを推進し、すべての人に安心な日常を提供します。
	 住みたいまち・訪れたいまちづくり 様々な暮らしの1シーンを彩り、住みたくなるまちづくりを行います。多様な人々を惹きつける、訪れたいまちづくりを推進します。		 多様な人財の育成・活躍 個人がスキルを高め、働きがいのある組織づくりにより、はたらく人のほほえみを創出します。はたらく人の専門性を高め、プロフェッショナルな人財を育成します。
	 五感を揺さぶる体験創造 楽しみ、感動、興奮、生きがいを提供し、人々がほほえむ特別な時を創造します。		 コンプライアンスと協働 コンプライアンスを徹底し、経営の健全性・透明性を確保します。ステークホルダーとの対話を重視し、適切な協働に努めます。

株式会社西武リアルティソリューションズ（会社概要）

所在地：東京都豊島区南池袋一丁目16番15号

代表者：代表取締役社長 齊藤 朝秀

設立：1956年6月4日

資本金：86億円

URL：<https://www.seiburealsol.jp/>



SEIBU REALTY SOLUTIONS

<事業内容>

不動産の所有、売買、管理、賃貸借、仲介業務等、ホテル・レジャー施設の経営

全国にまたがるグループ保有資産の有効活用や西武鉄道沿線の価値向上に資する取り組みを通して、地域社会、お客さまの課題解決に貢献してまいります。